

# 福島経済マンスリー

## 11月の県内経済は、一部に弱い動きがみられるものの、全体では持ち直しの動きが続いている。

### 1. 2017年11月の県内経済

項目	コメント	景況判断	
		変化方向	水準
県内経済の景況	県内経済は、生産活動の弱さが続いているものの、全体では持ち直しの動きが続いている。		
消費動向	大型小売店販売額は、スーパーが2カ月ぶりに前年を上回ったが、百貨店が3カ月連続で前年を下回り、合計でも3カ月連続で前年比マイナスとなった。乗用車新車登録台数は無資格者検査問題の影響などから13カ月ぶりに前年を下回った。		
公共投資	公共工事前払保証取扱は、件数が2カ月ぶりに前年を上回ったが、請負金額が5カ月連続、保証金額が9カ月連続と、ともに前年を下回った。公共投資は復旧・復興の進捗により減少基調で推移しているものの、震災前を上回る水準を維持している。		
設備投資	民間非居住用建築着工は、棟数が2カ月連続、床面積が2カ月ぶり、工事費予定額が2カ月ぶりに、いずれも前年を上回った。		
住宅投資	新設住宅着工戸数は、分譲が3カ月連続で前年を上回ったものの、持家が3カ月ぶり、貸家が11カ月連続で前年を下回り、全体でも11カ月連続で前年比減となった。しかし、既に震災前の年間実績を上回り、年間14,000戸を超えるペースで推移している。		
生産活動	鉱工業生産指数は、前月比（季節調整値）が△1.7%と4カ月ぶりに前月値を下回った。業種別の前月比をみると、7業種で上昇し11業種で下降した。		
雇用動向	有効求人倍率は、季節調整値が前月比△0.03ポイント、原数値が前年同月比+0.02ポイントとなった。一方、雇用保険受給者実人員は前年同月比+5.5%と7カ月連続で前年を上回った。		

注：「変化方向」は前月と比較した現在における景況の変化方向（：改善、：不変、：悪化）、「水準」は現在における景況の水準をそれぞれ示す。「変化方向」は当月と前月における3カ月加重移動平均の前年同期比の比較、「水準」は当月の3カ月加重移動平均値と過去5年間の平均値の比較等を参考に、それぞれ判断している。ただし、「変化方向」が改善または悪化の場合でも、「水準」が変わらない場合もある。したがって、足元の動向を示す「コメント」と「景況判断」は異なる場合もある。なお、公共投資および設備投資は6カ月加重移動平均値による判断、鉱工業生産指数は10月データ。

〈天気図（水準）の意味〉

晴れ	晴れ一部曇り	曇り	曇り一部雨	雨

良
い
悪
い

## 2. 県内経済動向の概要

### (1) 前年同月比

(単位：％、ポイント)

	項 目	前 年 同 月 比					
		2017年6月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月
消費動向	大型小売店販売額（全店舗）	△ 0.5	0.7	0.2	△ 0.9	△ 1.5	△ 0.1
	乗用車新車登録台数	15.8	2.9	6.5	5.1	2.4	△ 3.7
公共投資	公共工事前払保証取扱保証請負金額	0.6	△ 4.0	△ 68.8	△ 45.4	△ 22.8	△ 26.5
設備投資	建築着工工事費予定額（民間非居住用）	△ 29.1	53.6	36.2	77.2	△ 50.7	40.0
住宅投資	新設住宅着工戸数	△ 32.4	△ 26.4	△ 24.7	△ 2.7	△ 10.7	△ 16.8
生産活動	鉱工業生産指数（総合）	△ 1.8	1.2	1.0	0.0	1.6	—
雇用動向	有効求人倍率（パート含む）	0.00	0.01	0.05	0.06	0.05	0.02
	雇用保険受給者実人員	4.7	5.0	4.5	1.4	5.3	5.5

注1 鉱工業生産指数と有効求人倍率は原指数。Pは速報値、rは訂正值。

### (2) 前月比

(単位：％、ポイント)

	項 目	前 月 比					
		2017年6月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月
消費動向	大型小売店販売額（全店舗）	△ 4.7	6.9	0.4	△ 11.8	8.0	△ 0.0
	乗用車新車登録台数	28.3	△ 16.5	△ 15.8	38.7	△ 16.6	3.0
公共投資	公共工事前払保証取扱保証請負金額	34.3	△ 48.3	△ 31.7	34.7	14.6	△ 36.2
設備投資	建築着工工事費予定額（民間非居住用）	10.4	46.8	△ 23.4	96.2	△ 10.2	△ 21.0
住宅投資	新設住宅着工戸数	△ 6.7	23.9	4.4	9.3	10.3	△ 25.0
生産活動	鉱工業生産指数（総合）	△ 2.6	1.8	0.5	0.0	△ 1.7	—
雇用動向	有効求人倍率（パート含む）	△ 0.02	△ 0.01	0.00	△ 0.01	0.03	△ 0.03
	雇用保険受給者実人員	0.7	△ 1.1	5.2	△ 8.8	△ 1.7	△ 4.9

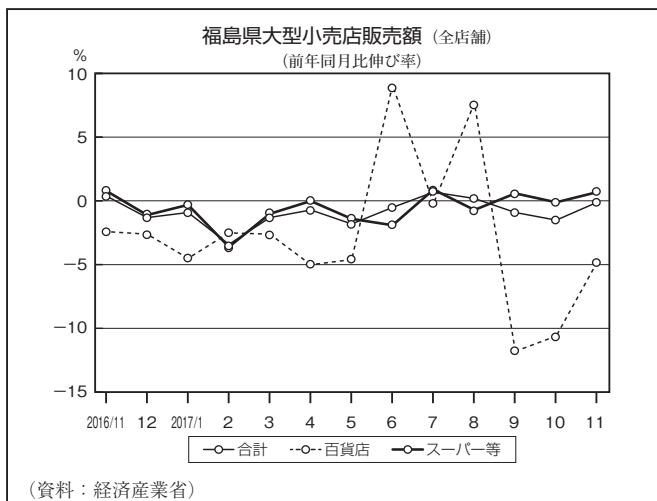
注2 鉱工業生産指数と有効求人倍率は季節調整値。Pは速報値、rは訂正值。

### 3. 県内経済動向

#### 消費動向

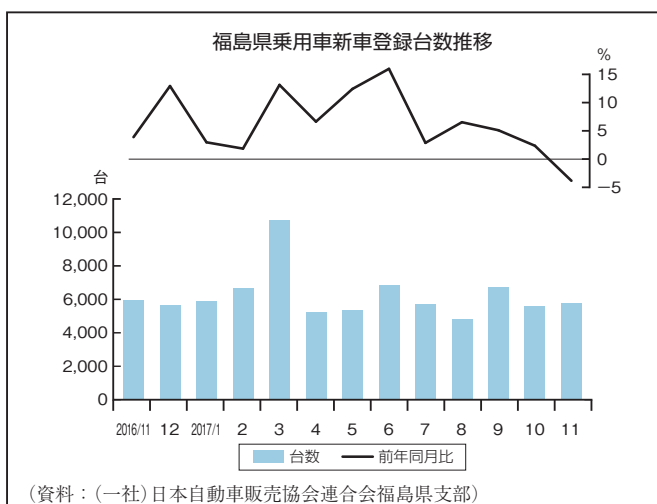
##### 大型小売店：3カ月連続で前年比減

11月の県内大型小売店の販売額（全店舗ベース）は、合計で204億18百万円（前年同月比△0.1%）と3カ月連続で前年を下回った。業態別で見ると、百貨店は、衣料品、飲食料品がともに前年を下回り、合計では同△4.8%となった。一方、スーパーは、衣料品が前年を下回ったものの、飲食料品などが前年を上回ったことから、合計では同+0.7%となった。



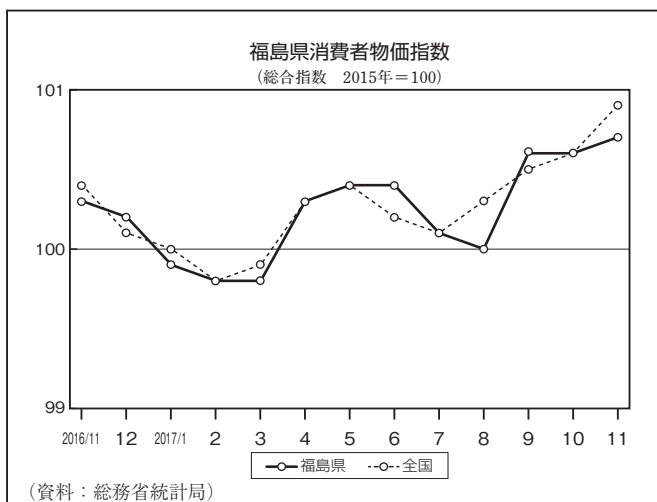
##### 乗用車販売：13カ月ぶりに前年比減

11月の乗用車新車登録台数（ナンバーベース）は、合計で5,744台（前年同月比△3.7%）となり、無資格者検査問題の影響などから13カ月ぶりに前年を下回った。車種別で見ると、軽乗用車が2,208台（同+8.5%）と9カ月連続で前年を上回ったものの、普通車が1,729台（同△2.5%）と6カ月連続、小型車が1,807台（同△16.3%）と2カ月連続で前年を下回った。



##### 消費者物価指数：前年比・前月比ともに上昇

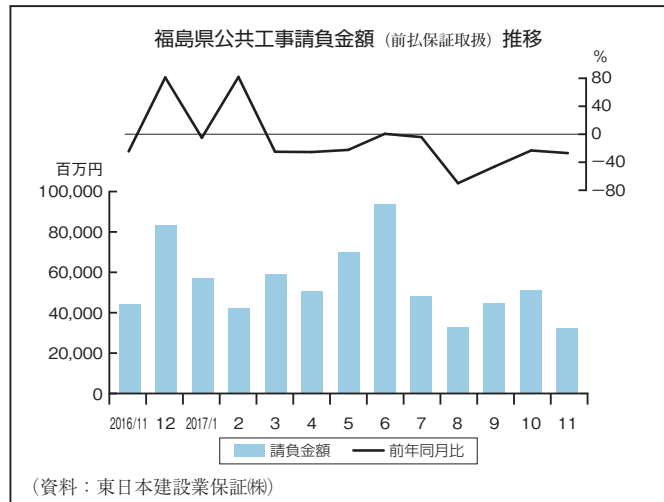
11月の消費者物価指数は、総合指数（福島市、2015年=100）が100.7で前年同月比+0.4%、前月比+0.1%となった。費目別に前月比で見ると、「家具・家事用品」の100.0（同+1.0%）など4費目で上昇し、下降したのは「諸雑費」の100.8（同△0.3%）など3費目となった。



公共投資

公共工事：請負金額は5カ月連続で前年比減

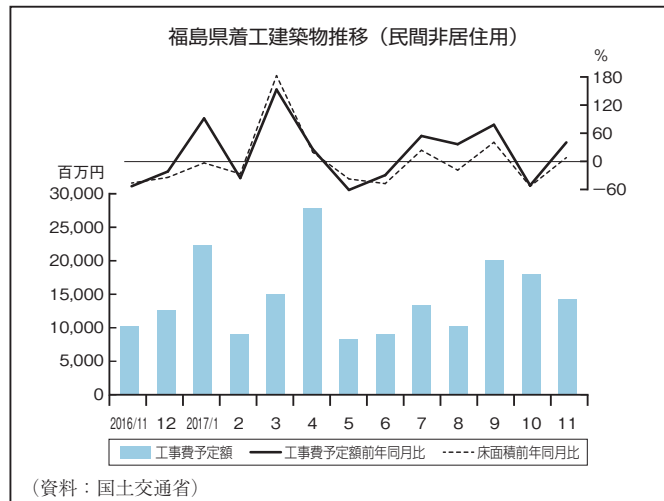
11月の公共工事前払保証取扱は、件数が624件（前年同月比+6.3%）で2カ月ぶりに前年を上回ったが、請負金額が327億63百万円（同△26.5%）で5カ月連続、保証金額が159億89百万円（同△28.6%）で9カ月連続と、ともに前年を下回った。



設備投資

設備投資：工事費予定額が2カ月ぶりに前年比増

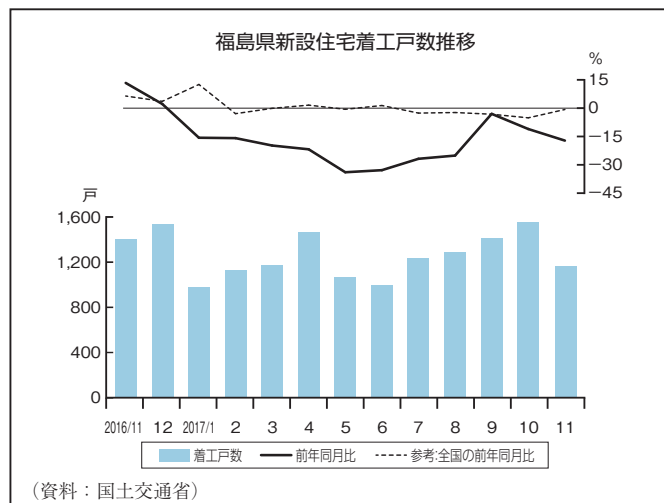
11月の建築着工（民間非居住用）は、棟数が193棟（前年同月比+6.0%）で2カ月連続、床面積が54,396㎡（同+7.9%）で2カ月ぶり、工事費予定額が142億29百万円（同+40.0%）で2カ月ぶりに、いずれも前年を上回った。



住宅投資

住宅建設：着工戸数は11カ月連続で前年比減

11月の県内新設住宅着工戸数は、1,164戸（前年同月比△16.8%）と11カ月連続で前年を下回った。主な利用関係別にみると、「分譲」は207戸（同+7.8%）と3カ月連続で前年を上回ったものの、「持家」は507戸（同△18.0%）で3カ月ぶり、「貸家」は442戸（同△21.9%）で11カ月連続と、ともに前年を下回った。

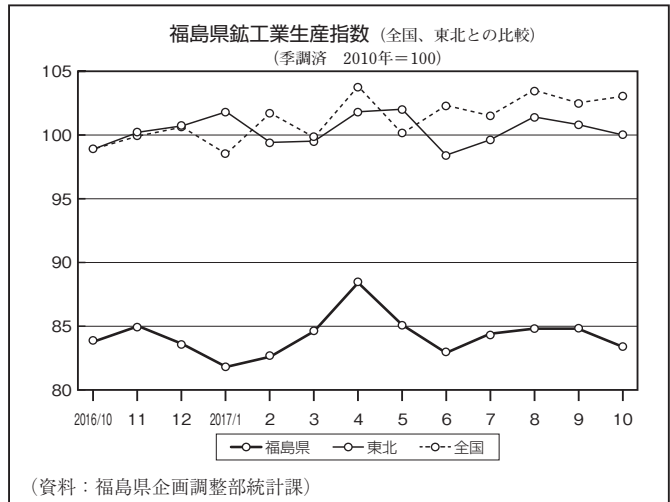


生産活動

※鉱工業生産指数は10月のデータ

鉱工業生産指数：前月比低下、前年比上昇

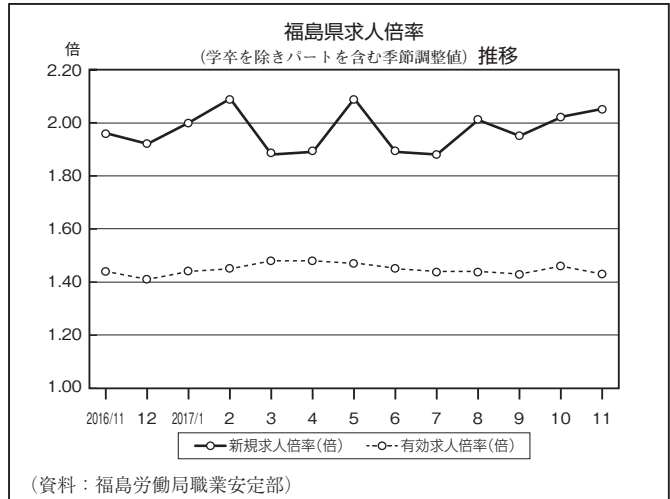
10月の鉱工業生産指数（季節調整値）は83.4で前月比△1.7%と4カ月ぶりに前月値を下回った。一方、原指数は85.0で前年比+1.6%と2カ月ぶりに前年値を上回った。業種別の季節調整値をみると、「印刷業」（前月比+22.4%）など7業種で上昇し、「輸送機械工業」（同△11.5%）など11業種で低下した。



雇用動向

雇用動向：有効求人倍率は前月比低下

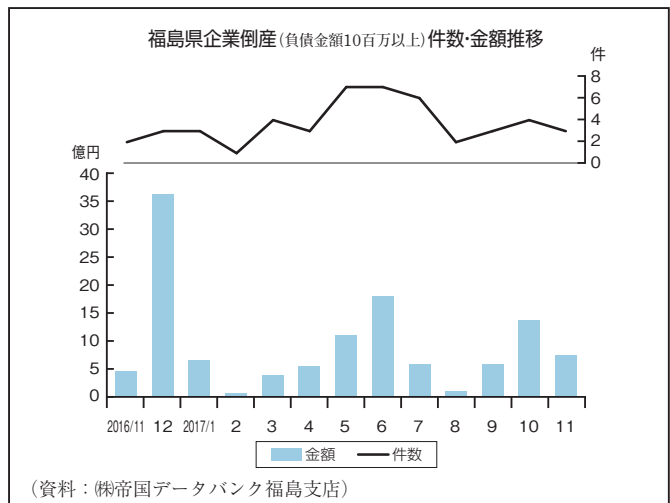
11月の新規求人倍率は、季節調整値が2.05倍（前月比+0.03ポイント）、原数値が2.26倍（前年同月比+0.15ポイント）となった。また、11月の有効求人倍率は、季節調整値が1.43倍（前月比△0.03ポイント）、原数値が1.58倍（前年同月比+0.02ポイント）となった。一方、11月の雇用保険受給者実人員は6,158人（前年同月比+5.5%）と7カ月連続で前年を上回った。



企業倒産

企業倒産：件数・金額ともに前年比増

11月の企業倒産（負債金額10百万円以上）は、件数が3件（前年同月比+50.0%）、負債総額が7億38百万円（同+60.8%）と、件数・負債総額ともに前年を上回った。業種別では、建設関連、卸売業、小売業で1件ずつとなった。

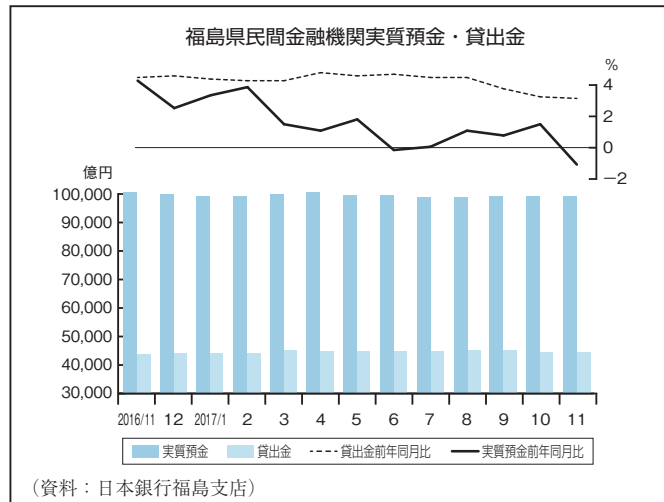


金融動向

資金需給：実質預金は前年比減

県内金融機関（全国銀行、信用金庫、信用組合の県内店舗分）の11月末の実質預金残高は、9兆9,502億円（前年同月比△1.1%）と5カ月ぶりに前年を下回った。一方、貸出金残高は、4兆4,760億円（同+3.0%）と4年6カ月連続で前年を上回った。

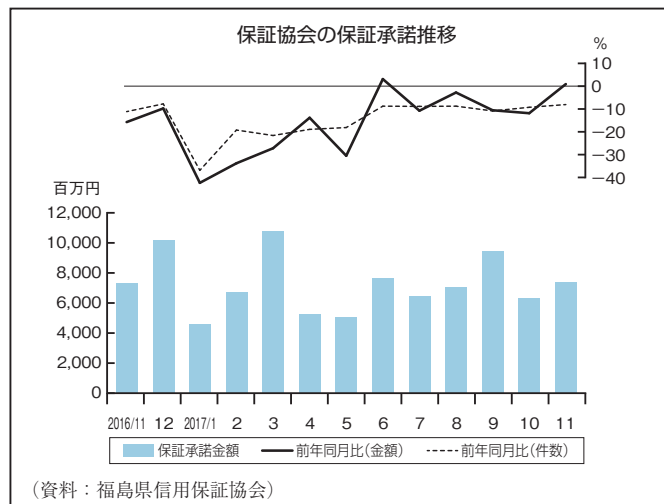
※実質預金は、総預金から手形・小切手を控除したものだ。



保証協会：保証承諾は金額が前年比増

11月の保証承諾は、件数が554件（前年同月比△8.1%）、保証金額が73億40百万円（同+0.9%）となった。また、11末日現在の保証債務残高は、件数34,592件（同△10.0%）、金額2,924億20百万円（同△12.0%）となった。

一方、11月中の代位弁済は、件数が14件（同△33.3%）、金額が1億31百万円（同△28.8%）となった。



4. 業種別動向

消費動向

※企業ヒアリング等による結果

**家電量販店** 11月の家電量販店の売上高は、冷蔵庫、洗濯機などの白物家電のほか、テレビやスマートフォンなどに伸びがみられ、合計では前年をやや上回った。

**ホームセンター** 11月のホームセンターの売上高は、日用品や家電製品などが前年を上回り、合計でも前年を5%ほど上回った。

**旅行** 11月の旅行取扱額は、国内が個人・団体と

ともに前年を下回り、全体では前年比30%ほど減少した。一方、海外は団体が前年を上回り回復の動きが出ているものの、個人の回復が弱く、全体では前年比20%ほど減少した。国内・海外の合計は前年を25%ほど下回る結果となった。

**高速道路** 11月の県内自動車道出入台数は、合計で5,432,472台（前年同月比+0.5%）と、3カ月ぶりに前年を上回った。路線別にみると、東北自動車道（白河IC～国見IC）が2,744,142台（同+3.0%）で3カ月ぶり、磐越自動車道（いわき三和IC～郡山東IC）が400,725台（同+2.3%）で2カ月ぶりに、それぞれ前年を上回った。一

方、常磐自動車道（いわき勿来IC～新地IC）は1,695,822台（同△3.2%）で3カ月連続、磐越自動車道（磐梯熱海IC～西会津IC）は591,783台（同△1.1%）で2カ月連続と、ともに前年を下回った。

**福島空港** 11月の福島空港国内定期路線の利用状況は、23,345人（前年同月比+6.4%）で2カ月ぶりに前年を上回った。路線別にみると、札幌便は4,594人（同△10.0%）、大阪便は18,751人（同+11.3%）となった。

（国際定期路線は全便運休）

**生産活動**

※企業ヒアリング等による結果

**化学** 11月の高機能樹脂は、自動車の部品用素材向けや家庭用製品の受注が引き続き安定し、前年をやや上回る生産水準を維持している。

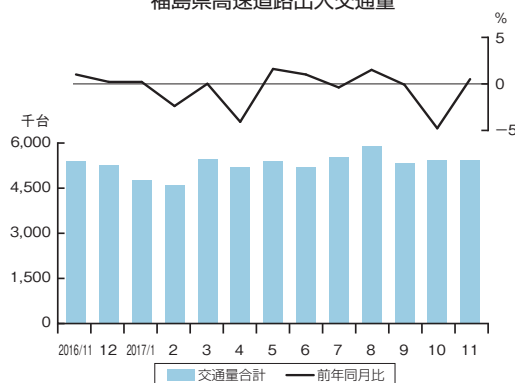
**鉄鋼・金属** 11月の伸銅品の生産は、半導体向け電子材が前年をやや上回ったものの、自動車向け端子材が前年を3%ほど下回り、全体でも前年をやや下回った。11月の建機用鋳造品の生産は、前年比ほぼ横ばいとなった。11月の鋳鋼品の生産は、船用部品が前年を下回り推移したものの、車輛関連が前年を15%ほど上回り、合計では前年をやや上回った。

**輸送用機械** 11月の自動車用鋳造品は、トラック用で受注が好調に推移し、前年を20%ほど上回る生産となった。また、オイルシールは、国内外の自動車向けの受注増などから、生産水準は前年を上回る状況が続いている。

**電気機械** 11月の電気機械の生産は、変圧器や配電盤などが前年を上回り、合計では前年を15%ほど上回る生産水準となった。

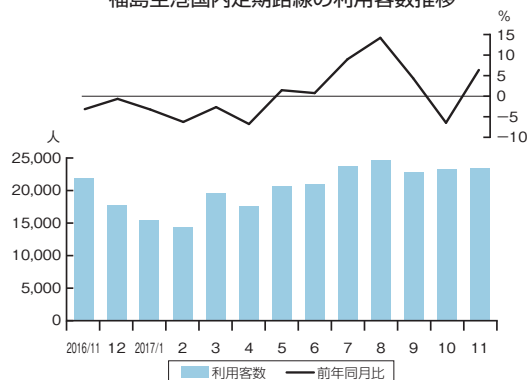
**情報通信機械** 11月の情報処理装置は、前年並みの受注を維持しており、合計では前年をやや上回る生産となった。

福島県高速道路出入交通量



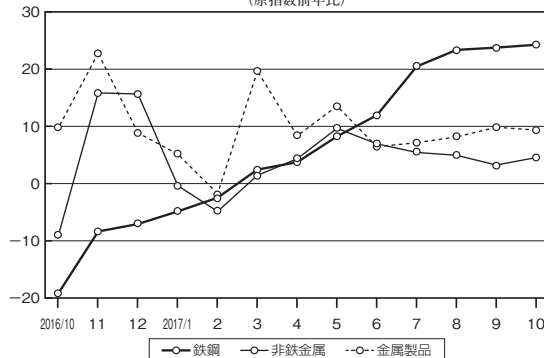
（資料：東日本高速道路(株)東北支社）

福島空港国内定期路線の利用客数推移



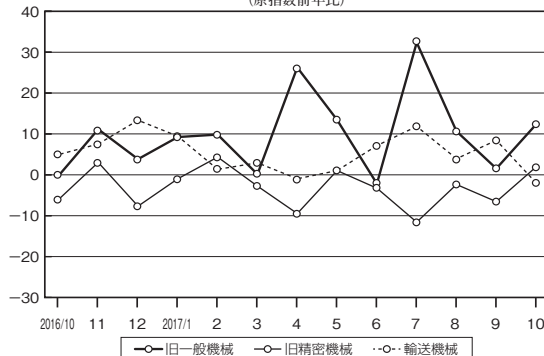
（資料：福島県商工労働部空港交流課）

福島県業種別鋳工業生産指数の推移（その1）  
（原指数前年比）



（資料：福島県企画調整部統計課）

福島県業種別鋳工業生産指数の推移（その2）  
（原指数前年比）



（資料：福島県企画調整部統計課）

**電子部品・デバイス** 11月のLSI（大規模集積回路）の生産は、需要の低下が続いたことで前年を40%ほど下回ったが、2018年は世界の需要増加が期待されている。

**精密機械** 11月の医療用内視鏡は、国内外ともに好調な受注を維持し、前年を2%ほど上回る生産水準となっている。また、デジタル一眼レフカメラ用レンズは、国内外で需要が高まっており、引き続きフル稼働の生産が続いている。

**窯業・土石** 11月の生コンクリート出荷量は、全体で172,002m<sup>3</sup>（前年同月比+0.3%）と2カ月ぶりに前年を上回った。地域別にみると、病院やショッピングモールの建設が進むいわき地域、復興に伴う公共投資が拡大している相双地域が前年を上回り、全体を引き上げる形となっている。

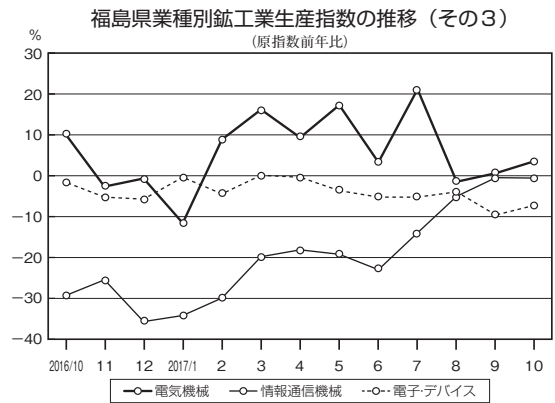
**紙・紙加工品** 11月の製紙の生産は、ノーカーボン紙が前年比減少傾向となっているものの、感熱紙は輸出関連で需要が安定しており、前年をやや上回る水準を維持している。

**清酒** 11月の清酒移出数量は、1,355kL（前年同月比+0.2%）と2カ月連続で前年を上回った。酒類別では、一般酒（特定名称酒以外の酒）が647kL（同△2.8%）と6カ月連続で前年を下回ったものの、特定名称酒（吟醸酒・純米酒・本醸造酒）が707kL（同+3.2%）と4カ月連続で前年を上回った。

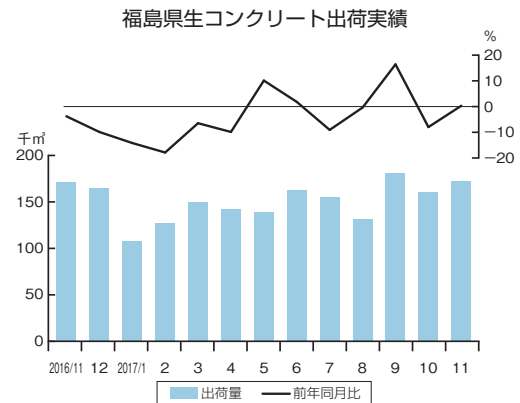
**化合繊維物** 11月の化合繊維物は、生産額が前年を10%ほど上回り、好調な生産が続いている。

**ニット** 11月のニットは、冬物製品の生産が順調で、生産額は前年を10%ほど上回った。

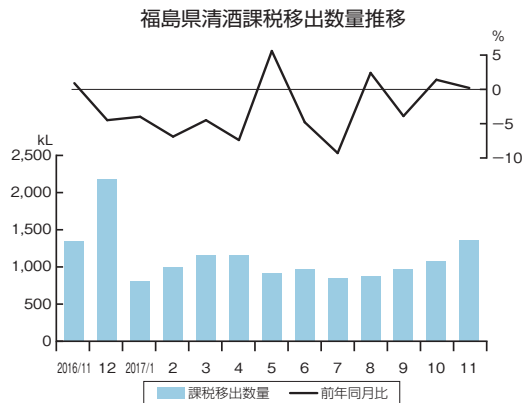
**電灯電力** 11月の電灯電力販売量は、1,068百万kWh（前年同月比△2.8%）となり、7カ月連続で前年を下回った。



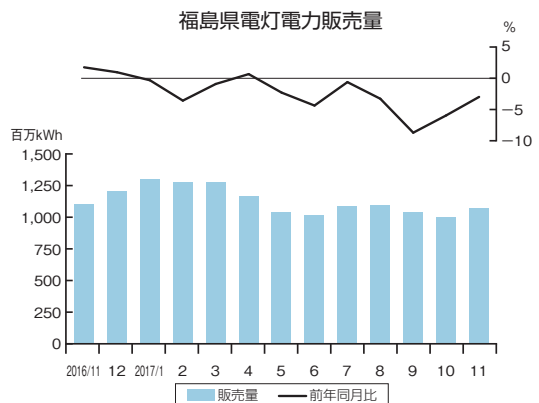
(資料：福島県企画調整部統計課)



(資料：福島県生コンクリート工業組合)



(資料：福島県酒造組合)



(資料：東北電力(株)福島支店)